

a la carte.

2023.2

あらかると

433



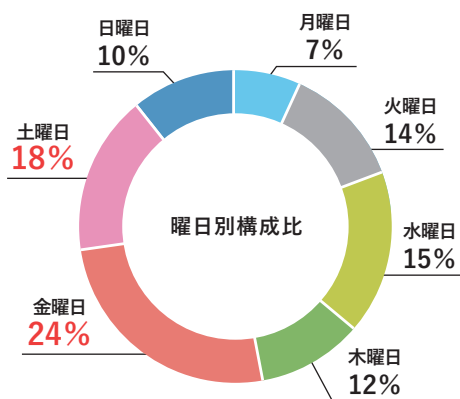
2022年(2021年12月～2022年11月)

新聞折込広告調査

2022年(2021年12月～2022年11月) 新聞折込広告調査

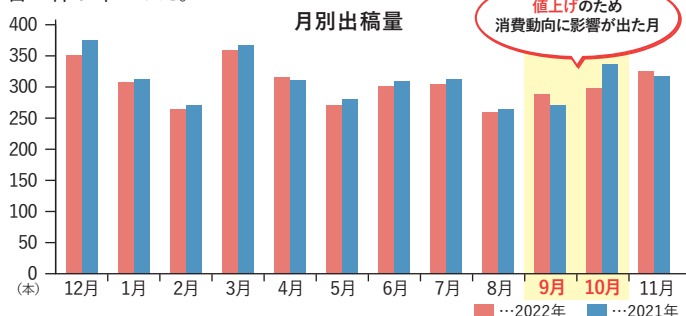
【曜日別構成比】

週末にチラシが多く、金曜・土曜で4割以上占めています。反面、週始めの日曜・月曜が少ない傾向です。平日だと週の真ん中にあたる水曜が多く、週末前の木曜は少ない傾向があります。



【月別出稿量】

減少幅が一番大きかったのは10月でした。前年比約95%前後で推移する月が多い中、10月は89%と大きく落としています。10月は原材料価格の高騰から様々なものが値上げとなったため、値上げ前の買いだめや値上げ後の買い控えなど消費動向の低下が影響したのが一因としてあげられます。その分、9月・11月が前年を上回っていて、特に9月が106%と一番の伸び率でした。



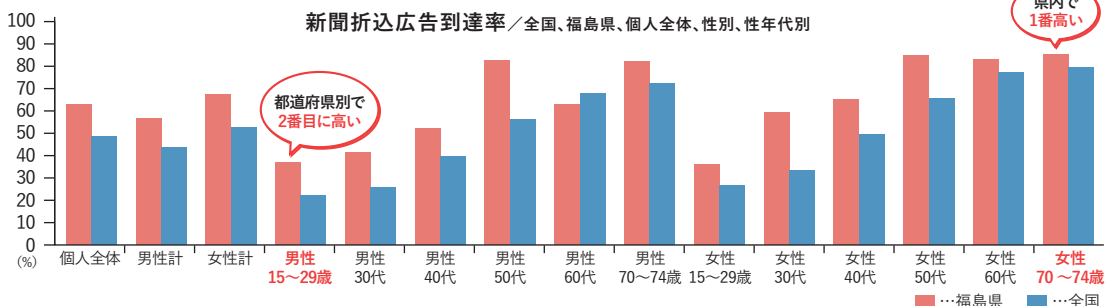
※1世帯あたりの月間平均折込枚数(J-NOA 出稿統計調査REPORT全国版 東北ブロックから抽出)

【新聞折込広告到達率】

福島県はほぼ全年代で全国平均を上回る折込広告到達率です。なかでも、男性15～29歳の到達率は全国でも非常に高く、今回の調査では都道府県別で2番目に高い数値でした。男性50代、女性30代への到達率も

調査期間にあたる特定1週間で、曜日ごとに新聞折込広告へ接触した(読んだ)かどうかを、調査対象者が日記式で記録したものを集計した結果、「1週間リーチ」とは、調査期間の1週間で、1日以上新聞折込広告に接触した人の割合。

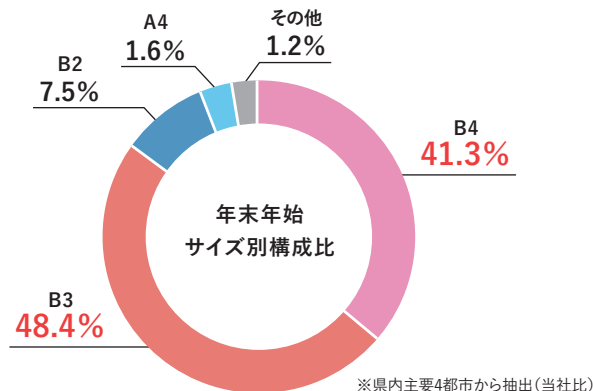
※各都道府県の人口ウェイトを加味して集計した数値
※本データの複写、転載を禁じます。
出典:「(株)ビデオリサーチ全国新聞総合調査(J-READ)2021年度データ」



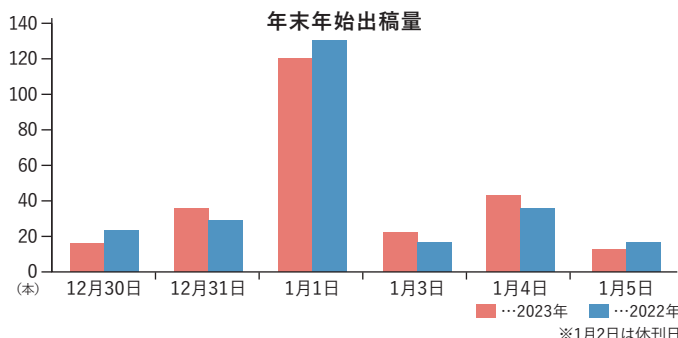
【年末年始出稿動向】(2022年12月30日～2023年1月5日)

年間のサイズ別構成比だとB4が約60%、B3が約30%とB4が主流ですが、年末年始はB3サイズが約50%ほど占めています。それでも2023年は前年に比べB3サイズが減り、B4サイズが増えた傾向が見られました。B2も通常は約4%程度の構成比ですが、年末年始は約8%と倍増するのも特徴です。

折込のタイミングとしては元日の1月1日が多く折込されます。2023年は1月1日の出稿量は減ったものの、その前後の出稿量が増え分散された傾向が見られました。地区別では会津地区で若干の減少は見られましたが、その他の地区ではほぼ横ばいと前年並みの出稿量でした。



※県内主要4都市から抽出(当社比)



※1月2日は休日

全国平均を大きく上回る結果となりました。

県内で1番高い到達率だったのは女性70～74歳、次いで女性50代、女性60代、男性50代と続きます。男性60代は唯一全国平均を下回りました。

ふくしまの地域、彩発見。 vol.1 「地域おこし協力隊『会津若松市』」 馬場 啓太

会津若松市では平成28年度より地域おこし協力隊を導入しており、今回、昨年4月に4人目の隊員として着任した馬場啓太さんにお話を伺いました。会津若松市の出身で高校卒業後大学進学で上京。在学中にお笑いの養成所へ入り、卒業後芸人デビュー。東京で芸人を続ける傍ら、昨年、活動拠点を地元へ移して市の地域おこし協力隊に着任し、芦ノ牧温泉がある大戸地区を担当。活動の一例として、ハックルベリージャムを製品化して販路を拡大したり、芦ノ牧温泉駅で大規模イベントを行ったり、来月には「健康づくりウィーク」と題し大川荘を会場に有名講師を招いたエクササイズイベントの実施など、馬場さんの活躍が大戸地区に活気と元気と新風を巻き起こしています。



「会津若松市 地域おこし協力隊」
会津若松市役所 企画政策部 地域づくり課
会津若松市追手町2-41
TEL 0242-39-1202 FAX 0242-39-1403

「地域おこし協力隊」とは…
人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした総務省が取り組む制度です。

詳しくはこちら
JOIN (移住・交流推進機構)
<https://www.iju-join.jp/chiiokoshi/index.html>

なるほど! 福島なんでもランキング 統計 都道府県別1人1日当たりごみ排出量

単位:グラム/人日

順位	地区	都道府県	1人1日当たりの総排出量
1	北陸	富山県	1,039
2	北海道・東北	福島県	1,033
3	北陸	新潟県	1,016
4	中国	鳥取県	995
5	北海道・東北	青森県	993
6	関東	群馬県	990
7	北海道・東北	秋田県	987
8	中国	山口県	982
9	北海道・東北	宮城県	977
10	関東	山梨県	972

出典: 環境省「一般廃棄物処理実態調査」令和2年度

福島県は1人1日当たりに出すごみの量が全国第2位。東日本大震災のあった2011年に大きく増えた後高止まりし、ワースト常連となっている。

ごみとは、工場などからの産業廃棄物を除く一般廃棄物のことを指し、一般家庭から出る生活系ごみと、事業所・商店などから出る事業系ごみに分かれるが、1人1日当たり排出量は、この2つを合わせた量で計算される。福島県で多いのが生活系ごみで、事業系ごみ全国30位に対し生活系ごみは2位。言い逃れの余地なく、家庭から大量のごみを出しているのである。

生活系ごみの中身をごみ排出量の少ない長野県と比較すると、「厨芥類」が多いという。いわゆる「生ごみ」で、食べ残しや調理くず、賞味期限切れの食材などだ。福島県消費者団体連絡会の「令和3年食品ロス削減に関するアンケート」では福島県民の4人に3人が食品ロスを発生させていると回答したというから、自覚はあるらしい。

ごみ排出量は重さで測るため、生ごみの水分を絞るだけでも減量に貢献できる。今年からは食品ロスを減らし、生ごみを絞って捨てる習慣を身につけたい。

2023 3 March 弥生

昨年3月、福島市の天気・最高気温です。

今日は何の日?

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
【2023年3月の天候予想】 北日本は日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東日本は日本海側では天気は数日の周期で変わり、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			1 マヨネーズの日 デコボンの日 「青春18きっぷ」発売開始(1982)	2 ミニマウスの日 ご当地レトルトカレーの日 春のサニーレタスの日	3 ひな祭り 耳の日 金魚の日	4 バウムクーヘンの日 ミンシンの日 差し入れの日
5 啓蟄(二十四節気) サンゴの日 スチュワーズの日	6 スポーツ新聞の日 弟の日 世界一周記念日	7 消防記念日 サウナの日 魚の日	8 国際女性の日 みつばちの日 さばの日	9 感謝の日 雑穀の日 ミックスジュースの日	10 砂糖の日 ミントの日 東京大空襲(1945)	11 東日本大震災12周年 いのちの日 コラムの日
12 スイーツの日 だがしの日 サイフの日	13 新聞休刊日 サンドイッチデー	14 ホワイトデー 数学の日 パイの日	15 靴の記念日 オリーブの日 世界初ドメイン誕生(1985)	16 十六国子 国立公園制定記念日 鈴木梅太郎ビタミンB1抽出に成功(1910)	17 漫画週刊誌の日 湯島聖堂完成(1690) 日本初の旅客飛行(1922)	18 彼岸入り 人類初宇宙遊泳(1965) 世界初点字ブロック敷設(1967)
19 ミュージックの日 ミルクレープの日 カメラ発明記念日	20 電卓の日 サブレの日 上野動物園開園(1882)	21 春分の日 ランドセルの日 日本初のカラー映画公開(1951)	22 放送記念日 世界水の日 秋田新幹線「こまち」運転開始(1997)	23 世界気象デー ホットサンドの日 ファミコン販売1000万台突破(1987)	24 おもてなしの日 連子鯛の日 日本初女性ファッションモデル登場(1928)	25 電気記念日 ドラマチック・デー とちぎのいちごの日
26 カチューシャの唄の日 初のロケット発射実験(1926) 北海道新幹線開業(2016)	27 世界演劇の日 さくらの日 仏壇の日	28 シルクロードの日 三ツ矢サイダーの日 スリーマイル島原発事故(1979)	29 マリモ記念日 作業服の日 八百屋お七の日	30 マフィアの日 スポーツ栄養の日 アメリカがアラスカ買収(1867)	31 オーケストラの日 山菜の日 ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園(2001)	

たかはしこうじのマーケティングスパイス

Marketing Spice



高橋 幸司 たかはしこうじ
有限会社高橋幸司の事務所取締役社長、
中小企業診断士、産業カウンセラー。家族
経営の事業所中心に3,078回以上コン
サルティング。店主の商売醍醐味満喫を
支援し、存在価値で負けない店・人づく
りを志向。2021年「うまくいく応えは店
主がお持ち」をモットーに、傾聴ありき
のコンサルティング「Blicon7」を開始。

うまくいく応えは店主がお持ち

店主ならではの奥儀

オーダーメイド紳士服店の店主から世代交代の相談があった。3回ほど対話の後、紳士服店は長男が継ぎ、次男は不動産事業の代表に就いた。「継いでもらえるのは幸せなことですね」と、店主に伝えると「頼んだ覚えはないが」と微笑み、父親の顔になっていた。そして、「もう少し教育を受けさせたかった」とも。

ここでいう教育は学校教育ではなく商売の教育だ。ご子息は店主の背中を見て商いを学んできたが、店主は自分流ではなく外部の経営セミナーなどでも学ばせたかったらしい。それは、店主が行きたくても行けなかった想いをしていた。しかし日々の商いや街の行事に息子たちを拘束してしまい、結局は自分と同じ想いをさせたことを後悔していたのだ。それを聞いた私は「自分流で良かったと思いますよ」と、伝えた。私は、セミナーに頼り過ぎて後継者育成が思うように進まなかった別の店主を思い出していた。その店は衣料品とギフトを扱い他人従業員も3人雇っていた。店主はセミナーを自ら探し、頻繁にご子息を出張させていた。ところが、当人に言わせると「セミナーで教わった通りにやってもうまくいかない、思ったより難しい」とのこと。こうした感想は珍しくない。セミナー講師は現役の経営者から講師専業の方まで様々。いずれも苦心してようやく

得られた奥儀を伝授してくれる。ところが、こうした奥儀を聞く素直な人ほど「簡単にできる」と錯覚する。いざ実践しても、ものにできない場合が多い。

昨年末の早朝にラジヲを聞いていると、野球解説者が落合博満氏にフォークボールの打ち方を尋ねた時のエピソードを紹介していた。落合氏の応えは「落ちてからじゃ打てない、落ちる前に打てばいい」と、シンプルなものだったと言う。素直な野球少年がこれを聞けば「わかった!」と、打席に立つだろう。しかし、落ちる前に振っても当たらず、ものにすることの難しさに気づくことになる。これはセミナー講師と受講生の関係と同じではないか。

教育熱心な店主がご子息や従業員にセミナーを受講させることは悪いことではない。しかし、店主自身が教育係(=育師)として、自らの言葉と面構えで「自分流=店主ならではの奥儀」を日々伝えることに勝るものはないだろう。労力を惜しまず、人が育つのを支え続けることは、骨の折れる仕事だが、筋金入りの後継者を育てるならこちらがオススメだ。

(2020年4月22日執筆)

てっちょちゃん

vol.127 キラ アスカ作



小 耳 話
から の
ケン オリ

column

49

キャベツ餅



お正月で食べたお餅は残っていませんか?

地域によってお餅の食べ方やアレンジレシピは様々ありますが、今回は福島県郡山市西部の地域でつくられる「キャベツ餅」をご紹介します。

①キャベツを油で
しんなりするまで炒める



②しんなりしたら調味料※を
入れて味を調え餅を投入する



③中火で5分ほどで出来上がり



※調味料

・水…1カップ ・だし汁…半カップ
・砂糖…小さじ3 ・醤油…小さじ3

ケンオリ社員の家庭のレシピになります!お好みで味を調整してください。
大根などをいっしょに入れてもおいしいのでぜひ作ってみてください。



KenOri

株式会社 ケンオリ

<https://kenori.com>



【本社】〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田26-3 tel.(024)944-8400 fax.(024)944-9980

【福島支社】〒960-2101 福島市さくら3-2-7
tel.(024)594-2155 fax.(024)594-2156

【いわき営業所】〒970-8025 いわき市平南白土2-6-3
tel.(0246)24-2500 fax.(0246)24-2504

【会津若松営業所】〒965-0059 会津若松市インター西75
tel.(0242)22-6300 fax.(0242)22-6302

【仙台営業所】〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24 錦ビル2F-A
tel.(022)217-6766 fax.(022)721-5580